

報道機関各位

## 「技術者交流フォーラム事業(第41回)in小樽」を開催

## インフラの既存ストック活用と観光

第41回技術者交流フォーラム事業in小樽は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、インフラのストックを活用し観光振興を図るため、最近の取組みなどについて紹介します。

■開催日：令和5年1月25日(水) 13:30~17:00

■場所：小樽市民センター マリンホール 小樽市色内2丁目13番5号

■主催：国土交通省北海道開発局小樽開発建設部  
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所  
公益社団法人日本技術士会北海道本部

■後援：国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学、小樽建設協会  
小樽測量設計協会、小樽市

## ■特別講演

小樽・後志における文化観光の可能性

～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～

小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部客員研究員  
博士(歴史民俗資料学)、地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野 宏康 氏

## ■技術者交流(展示コーナー)

講演会場に隣接するロビーに、講演者や主催団体の活動を紹介する展示コーナーを設けます。

是非ご覧ください。

## ■一般講演

・小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興

小樽開発建設部 次長 齊藤 敦志

・観光の定義と実態、そして今後の展開

日本技術士会北海道本部社会活動委員会リージョナルステート研究委員会 武山 泰典

・「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと

寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩田 圭佑

## ■参加申込期限 令和5年1月24日(火) まで

※下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願い致します。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

※参加費:無料

※(公社)土木学会CPD認定プログラム

※(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム

<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input type="checkbox"/> 非公開
--	-------------------------------	------------------------------

取材ご希望の方は、下記まで御連絡ください。(直接会場にお越しいただいても結構です。)

問い合わせ先			
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所			
寒地技術推進室	室長	かわばた いくお 川端 郁雄	730(内線)
	総括主任研究員	ひなた まさのり 日向 正典	731(内線)
TEL : 011-590-4047(直通)			



国土交通省 北海道開発局  
小樽開発建設部



国立研究開発法人 土木研究所  
寒地土木研究所



公益社団法人 日本技術士会 北海道本部  
The Institution of Professional Engineers, Japan Hokkaido RHQ

# 第41回 技術者交流フォーラム事業 in小樽

## インフラの既存ストック活用と観光

2023/1/25 (水) 13:30~  
小樽市民センター(マリンホール)

入場無料  
事前予約制・座席指定

### お申し込みは

寒地土木研究所HP  
<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>  
をご覧ください。



寒地土木研究所HP



会場位置図

〒047-0031  
小樽市色内2丁目13番5号  
TEL:0134-25-9900  
<http://otarushiminkaikan.jp>

※公共交通機関でお越し願います。

主催 国土交通省北海道開発局小樽開発建設部  
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所  
公益社団法人日本技術士会北海道本部

後援 国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学  
小樽建設協会、小樽測量設計協会、小樽市

▶ 開会挨拶(13:30~) 小樽開発建設部長 遠藤達哉

### ▶ 特別講演

『小樽・後志における文化観光の可能性』

～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～

小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門

地域経済研究部 客員研究員

博士(歴史民俗資料学)

地域レジリエンス株式会社 代表取締役

高野宏康氏

### ▶ 技術者の交流(展示・休憩)

### ▶ 一般講演

『小樽港心頭再開発によるクルーズ振興』

小樽開発建設部 次長

斉藤敦志

『観光の定義と実態、そして今後の展開』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部

社会活動委員会リージョナルステート研究委員会

武山泰典

『「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと』

寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩田圭佑

▶ 閉会挨拶(16:55~) 寒地土木研究所長 竹内正信

【コロナ対策】換気は常時稼働します。受付に消毒・検温設備があります。

【懇親会】今回はフォーラム終了後の懇親会は開催いたしません。

お問い合わせ先：寒地土木研究所 寒地技術推進室(直通TEL 011-590-4046)

第41回技術者交流フォーラム事業in小樽は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、インフラのストックを活用した観光振興を図るため、最近の取組みなどについて紹介します。

## 《 特別講演 》

▶ 13:35~14:35



### 『小樽・後志における文化観光の可能性』

～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～』

小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門

地域経済研究部 客員研究員

博士(歴史民俗資料学)

地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野宏康氏

近年、地域の歴史文化をその歴史的背景や内容を含め発信し、地域振興につなげる文化観光が注目されている。今回のフォーラムでは、北前船をはじめ小樽・後志の歴史文化と食などの地域資源を組み合わせた事例を紹介しします。

## 《 技術者交流（展示・休憩） 》

▶ 14:35~15:15



技術者交流の場として展示コーナーを設けますので、どうぞご覧ください。(講演会場の隣で開催しております)

【出展者一覧】

高野宏康氏、小樽開発建設部、寒地土木研究所(水産土木チームから後志での調査研究についても展示予定)

## 《 一般講演 》

▶ 15:15~16:55



▶ 15:15~15:45

### 『小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興』

小樽開発建設部 次長 斉藤敦志

小樽港における老朽化した既設岸壁の改良およびふ頭の再開発による、クルーズ振興・観光拠点づくりの取組を紹介します。



▶ 15:45~16:15

### 『観光の定義と実態、そして今後の展開』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部

社会活動委員会リージョナルステート研究委員会 武山泰典

「観光」について「旅の目的」という視点から実態を分類し、インフラツーリズムの多様な展開をめざすとともに、新時代の先端技術も視野に入れたい。



▶ 16:25~16:55

### 『「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと』

寒地土木研究所地域景観チーム 主任研究員 岩田圭佑

寒地土木研究所が進めている研究の中から、「道の駅」を地域振興につなげるための、魅力的な空間づくりと運営上のポイントについて紹介します。

### 参加者の皆様へお願い

新型コロナウイルス感染の予防、拡散防止にあたり、ご来場の皆様には下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- ・原則、事前申し込みをされた方のみ参加とさせていただきます。
- ・また、申し込み時のQRコードをスマートフォン画面もしくは印刷でご持参願います。
- ・37.5℃以上の発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。
- ・場内はマスクの着用をお願いいたします。
- ・会場内に消毒液を設置し、入場時に検温を実施いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。
- ・ソーシャルディスタンス確保のため、会場内の座席制限を行います。

本フォーラムは、下記プログラムに認定されています。



(公社)土木学会 継続教育(CPD)プログラム

認定番号: JSCE22-1535  
認定単位: 2.5単位

CPDS  
766278  
3 unit  
(※注)

(一社)全国土木施工管理技士会  
連合継続学習制度(CPDS)プログラム

※注 CPDS  
形態コード101-2分野 3 unit  
(101-2分野は年間上限 6unit)